

祝

辞

岡山実験動物研究会の発会を祝して

昨年の暮れ12月に、第1回岡山実験動物研究会が岡山大学農学部猪教授を会長として岡山市で開催され、この度、研究会報第1号が刊行される運びに至りましたことは誠に喜びに堪えないところであります。

実験動物は医学、歯学、薬学、理学などをはじめ多くの研究分野において欠くべからざるものでありますが、それにもかかわらず、本邦では正しい規格の動物実験施設の設置が遅れ、いわば非統制、非規格の環境下で飼育された動物が長年にわたり動物実験に供されてまいりました。従って各研究施設で得られたデータについては厳密に言えば同一の机上で論ずることが出来なかったわけがあります。しかし、最近の10年間において、逐次、各大学に環境制御された動物実験施設が設置されてまいりましたが、先述の点からみて、本邦の学問の発展・向上の為にきわめて有意義なこととい

岡山実験動物研究会の設立を祝して

この度熱心な有志の方々を中心にして、ここ岡山の地に実験動物研究会が生まれましたことは誠に慶賀に堪えません。周知の如く生物学関連分野の研究には実験動物は必要欠くべからざる存在です。研究の対象に従って、適切な動物が選ばれ、十分な飼育管理のもとで、すぐれた手技によって実験が行なわれることによるのみ信頼できる成果が得られることは申すまでもありません。健康な純系動物の確保と実験技術の熟練と、十分な飼育管理の知識が要求される時代です。

岡山大学長 大藤 真

わねばなりません。

岡山大学医学部では昭和55年に、動物実験施設の設置が認可され、新営の建物の落成式を迎える日も間近かに迫っております。

このような時期に当って、この度岡山大学農学部猪教授を会長とし、岡山大学各学部、川崎医科大学、ノートルダム清心女子大学、林原生物化学研究所、重井医学研究所などの方々を会員とされた実験動物研究会が設立されましたことは誠に時宜を得たものと言うべく、地域の各研究施設における各方面の研究の一層の発展の為に御同慶の至りに存ずる次第であります。

今後、本研究会が順調に発展され、立派な成果を挙げられ、そして、その記録が残され、地域における科学の進歩、向上のために大きい貢献を果されますよう心から祈念致すものであります。

重井医学研究所長 妹尾 左知丸

然し、一方現状をふり返ってみると、実験動物に関する研究者の知識や実験手技は必ずしも充分とは言えず、信頼できるチェック機関もなく、実験技術を習得する場もない状態です。

幸いにして今回猪、永井両教授をはじめ御関係の皆様の大御努力により、安心して実験動物に関する相談ができ、又色々と教えていただける場所ができたことは誠に嬉しい限りです。今後この会がますます成長し、発展して科学の進歩に大きく寄与されることを念願してやみません。